

議会広報特別委員会
大刀洗町議会に視察

議会広報特別委員会は、5月8日に「たちあらい議会だより」の視察を行いました。大刀洗町議会は、全国町村議会議長会が主催する広報コンクールで毎年度上位にランクインされ、昨年度は3位を獲得しています。その為、九州はもとより全国の市町村から視察を受けています。

小郡市議会としても「議会だより」の充実を図る為に委員会で協議をして視察を行いました。



議会広報委員会の説明を受ける



視察終了後、大刀洗町議会の皆さんと

たちあらい議会だよりの特徴は、見出し文と記事の内容が要約され文字が少なく、写真やイラスト等を多く掲載することで、大変読みやすくなっています。また、専門用語をできるだけ使わないようにして、使用した場合は説明書きがされ、町民に分かりやすい内容の議会だよりです。

小郡市議会も、今回の視察で学んだ手法を参考に「8月議会だより」から市民が読みやすく、分かりやすい、そして読みたくなるような紙面に大きく変更しました。

今後も、「議会だより」を通して議会の活動や議会の役割を市民に伝えていきます。市民と情報を共有しながら、市民が政治に関心を持っていただき、参加できるように取り組みます。

議会運営委員会報告

通告書の変更

議会改革を行う目的で6月議会から「代表・一般質問通告書」の様式を変更しました。今回、質問の趣旨をより分かりやすく記載することで「何が問題か、何を解決すべきか」を明確にし、執行部と議論が深まるようにしました。各議員の一般質問内容は、事前にホームページに掲載しています。是非、議場へお越しください。

高校生との意見交換会

10代の主張

小郡高校、三井高校の生徒の皆さんと令和5年7月24日に意見交換会を行いました。

テーマ

- ①住み続けたい 「まち」には何が必要か？
- ②18歳から選挙権、投票に関心を持つには？



意見交換会の様子は、次回の議会だよりで報告いたします。



議会活動

議会が閉会しているときどんな活動をしているの？

令和5年5月8日(月)



小郡警察署長による 小郡市管内治安情勢等の説明会

小郡市人権教育啓発センター

小郡市の現状と課題について説明を受けました。市職員と議会が情報を共有し、共に「安心・安全なまちづくり」を進めていくことを確認しました。



令和5年5月14日(月)



水防訓練

宝満川河川敷 大板井橋下流右岸

市民の安心安全を守るため、災害を想定した訓練が行われました。団員の皆さんの取り組む姿勢に感銘を受けました。



令和5年7月2日(日)



小郡市消防団 ポンプ操法大会

三井消防署

仕事と消防団活動を両立し、団員の皆さんは、約1ヶ月に及ぶ操法訓練の成果を競いました。実際の現場で活かされる技を見て頼もしく感じました。



常任委員会審査報告

総務文教常任委員会報告

総務文教常任委員会を6月7日に開催し、付託された執行部提出案件4件を審査しました。主な質疑は次の通りです。

専決処分を報告し、承認を求めることについて
〔令和4年度小郡市一般会計補正予算(第11号)〕

報告第7号

新体育館建設基本計画改訂業務委託料については、業務内容の見直しや随意契約を行ったことにより、契約締結金額が218万2400円となり、今回581万7千円の減額となっています。

問 見積徴収をしていない予算の立て方自体に問題があり、また入札をせずに随意契約をした根拠は。

答 発注の段階で再度業務内容を精査した上で見積もりを徴収しており、経費削減と工期の短縮も図れるということでの最終的には随意契約をしています。

委員会として

基本的に随意契約というのはすべきでないというのが前提であるが、全部が全部入札をしづらいかどうかの課題もある。今回の件は、当初予算計上時に安易な提案を行ったことに起因し疑義が生じており、また、入札を行わず、時期に追われて随意契約を選択したことなどが不審に繋がっている。今後あらゆる可能性を鑑み、慎重な予算提案を心がけるよう重々申し添える。

保健福祉常任委員会報告

保健福祉常任委員会を6月8日に開催し、付託された執行部提出案件7件を審査しました。主な質疑は次の通りです。

専決処分を報告し、承認を求めることについて
〔小郡市国民健康保険税条例の二部を改正する条例〕

報告第5号

地方税法施行令の一部を改正する政令が公布され、4月1日から施行されることにより、小郡市国民健康保険税条例の一部を改正する必要が生じたもので、

課税限度額の見直しや低所得者に対する軽減税率の拡充を行うものです。

問 限度額が増える対象世帯と反対に軽減される世帯はどれくらいあるのか。

答 課税限度額が増える世帯が22世帯、5割軽減に係る世帯が13世帯、2割軽減が20世帯になる見込みです。

専決処分を報告し、承認を求めることについて
〔令和4年度小郡市一般会計補正予算(第11号)〕

報告第7号

青少年教育事業で指定寄附と企業版ふるさと納税を合わせて総額487万円の寄附を頂き、350万円を令和4年度事業に充当し、残り137万円を基金に積立てています。

問 基金は志学塾だけでなく様々な人材育成事業も想定しているのか。

答 小郡市の人材育成や体験活動に役立てます。

都市経済常任委員会報告

都市経済常任委員会を6月9日に開催し、付託された執行部提出案件5件を審査しました。主な質疑は次の通りです。

令和5年度小郡市一般会計補正予算(第4号)の承認について

議案第33号

農業用ハウス被害軽減対策事業費補助金922万3千円の増額は、湛水リスクによる農業被害を軽減するため、既存のハウスの移転や侵入防止壁及び排水ポンプの整備を支援する県の補助事業を活用し、3名の方が事業を実施するものです。

問 この事業はどのような調査及び審査基準で選定されるのか。

答 小郡地区で今回移転される方は、令和2年7月及び令和3年8月の豪雨でハウスが浸水しており、被害に遭わないために、被害地とは別の自己所有の土地に移転するものです。

↓ 討論

報告第 5号 小郡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例



反対

国民健康保険は憲法に支えられた社会保障。国民健康保険制度は構造的な問題があり、公費の投入が必要。制度の根本的な解決なしに、国民皆保険の要である国保の存続は難しい。

国の制度改正に伴い、被保険者に対して十分配慮されたもの。制度を安定かつ安心して医療サービスが受けられる制度として継続していくためには必要な改正である。

賛成



報告第 7号 令和4年度小郡市一般会計補正予算(第11号)



反対

新体育館建設基本計画改訂業務委託料について反対市が行ったことは、入札制度の形骸化であり、新たな業者の参入を阻害し、行政の公平性に欠ける。財源を含め執行部方針が定まらない中で、職員が具体的に事業を進めることができず、随意契約に至ったもの。

委託契約においては、きちんとルールに従って行われており、財政課の契約担当に確認しながら進めてきた。内容に反対すべき要素は全くない。

賛成



議案第33号 令和5年度小郡市一般会計補正予算(第4号)



反対

福岡県教育委員会研究指定委嘱事業^{※1}について反対教師の働き方改革も進まず、子どもたちの自殺や不登校も増加。これにより教師や子ども達の負担が増えることが心配。教師や子どもたちのいのちや未来を守るために反対。

新たに実施する必要が生じた事業の経費を予算化。国の交付事業、また、県の補正予算である。賛成して速やかに実施していくべき。

賛成



※1 福岡県教育委員会研究指定委嘱事業とは、3年間にわたり教育課題に対して、公開授業等を行い、成果を共有し教育の充実・改善に取り組む事業